

事業計画書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

公益財団法人川端康成記念会

基本的指針

当記念会は、平成25年4月1日付で公益財団法人として移行登記を完了し、令和2年度は、公益財団法人川端康成記念会として8期目を迎えることとなる。

当記念会は、川端康成の功績を後世に伝承し日本文学の振興に寄与するため、引き続いて各公益事業の推進に努めることとする。

令和2年度においては前年の事業を継続しつつ各事業について、情報収集、協議検討を行った上、各公益事業を充実発展させるべく次のとおり計画する。

1. 川端康成文学賞の授与を目的とする事業（事業番号 公1の事業）

川端康成文学賞は川端康成の命日にあたる4月に授賞作品が決定される。そのため例年10月に始まり翌年3月に終わる授賞作品の予備選考作業は、授賞決定・文学賞授与という事業と会計年度を異にすることになる。

なお、川端康成文学賞は平成30年6月の第2期19回（通算第44回）選出後休止しているが、再開に向けて検討中である。

2. 川端康成記念館等の維持管理を目的とする事業（事業番号 公2の事業）

公益財団法人としての趣旨に鑑み、一般市民を対象とした事業として、川端康成記念会の庭園等を公開し、愛好者の裾野を広げ、鎌倉市初の名誉市民である川端康成の文学の理解を深めたいということで、鎌倉文学館の協力を得て、上記の事業を令和2年11月14日に行う予定である。

事業内容は文学館で川端文学の予備的知識を理解してもらうための講演と川端邸（庭園が主）見学から成り、参加者は午前午後各30名、計60名で一般市民からの公募による。

一方、記念館の保守管理及び庭園の整備は怠ることなく行い、可能な限り参観希望者の要望に応えることとする。

3. 川端康成の遺品、美術品、愛蔵品等の公開並びに展示貸出を目的とする事業

（事業番号 公3の事業）

（1）新発見資料と資料解読への努力

新発見資料及び解読作業による調査、研究結果については各地で開催される公開展示を通じて一般に公開できるよう本事業の推進に努める。

（2）コレクションリストの見直しと資料の整理

（3）コレクション展示会予定

①岡山県立博物館 令和3年2月10日～令和3年3月14日

「雪舟と玉堂一二人の里帰り」展

貸出コレクション 玉堂「凍雲篩雪」 貸出金額 金20万円

②府中市美術館 令和3年3月13日～令和3年4月11日

「春の江戸絵画まつり 与謝蕪村」展

貸出コレクション 蕪村「十宜図」 貸出金額 金15万円